

教科名	芸術（音楽）	単位数	2		担当	
科目名	音楽Ⅱ	必修 選択	必修	選択	学年	3年
教科書 副教材等	MOUSA②（教育芸術社） 音楽の鑑賞資料と基礎学習（教育芸術社）					
選択対象者	人文コース、資格教養コース					
科目の 目標	<p>音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽分野と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標						
<p>(1) 表現分野では、歌唱・器楽・創作を行う。</p> <p>A 歌唱では、音楽Ⅰで身に付けた発声の技能を生かし、様々な表現形態による歌唱活動に取り組む。</p> <p>B 器楽では、主にギターに取り組む。楽器や奏法の特徴を活かして演奏するとともに、他者との調和を意識し、曲にふさわしい表現で演奏することを目指す。</p> <p>C 創作では、音や音階・音型等の特徴を理解し、DAWを活用しながら4～8小節程度の楽曲を創作・編曲する。</p> <p>D 自由表現では、歌唱・器楽・創作の様々な表現方法を自由に組み合わせ、場面にふさわしい演奏を行う。</p> <p>(2) 鑑賞分野では、教科書掲載曲や表現分野と関連した楽曲の鑑賞を行う。</p> <p>(3) 各分野の学習と関連付けて基礎的な音楽理論を学習し、ソルフェージュ能力や読譜能力を高める。</p>						
2 授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> 感性を働かせ、自らの興味や体験と関連付けながら幅広い音楽活動に取り組む。 必要に応じてICTを活用し、自分に合った練習方法を工夫しながら、技能の習得を目指す。 主体的・協働的な学習をとおして多様な視点から音楽を分析し、深く理解する。 						
3 評価の規準						
<ul style="list-style-type: none"> 音楽の基礎的な知識・技能を身に付け、音楽表現に活かすことができる。【知識・技能】 音楽の構造や文化的・歴史的背景などを曲想と関連付け、曲の特徴を深く理解することができる。【知識・技能】 音楽に対して自分なりの意図や価値基準を持ち、個性豊かに音楽表現を工夫したり、よさや美しさを味わって聴いたりすることができる。【思考・判断・表現】 音楽の諸活動に主体的・協働的に取り組み、音楽文化に親しみを持ち、音楽を自らの生活と結びつけて捉えることができる。【主体的に学習に取り組む態度】 						
4 評価の方法						
<p>【知識・技能】実技、創作作品、ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】ワークシート、創作作品</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】ワークシート、授業記録、その他授業態度</p> <p><成績（評定）の付け方></p> <p>3観点は均等に扱い評価します。</p>						

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	オリエンテーション (1)	オリエンテーション	1年間の授業内容・評価について理解することができる。	③
	歌唱① (3)	《本校校歌》 《' 0 sole mio》など	正しい発声で美しく歌唱できる。 歌詞の内容や曲の構成から、ふさわしい歌唱表現を工夫できる。	⑤ ④
	鑑賞① (3)	オペラ《魔笛》	言語の特徴を活かして歌唱できる。 古典派音楽の特徴を、他の時代と比較して理解することができる。 アリアを聴き、登場人物の心情に寄り添い、音楽表現の工夫を感じ取ることができる。	④ ② ⑤
5	音楽理論 (2)	読譜 (調、反復) コード進行	読譜の基礎的な技能を身に付けることができる。 各コード進行の特徴をつかみ、自分の周りにある音楽と関連付けて理解することができる。	① ⑤
	器楽① (4)	クラシックギター 《日曜日よりの使者》など	ストローク奏法の技能を身に付け、歌いながら演奏することができる。	④
6	自由表現① (15)	セルフプロデュースによる 演奏 (学校祭)	場面にもふさわしい曲を演奏し、音楽の役割について理解を深めることができる。	⑥ ⑤⑧
7			他者との調和を意識し、個性豊かに音楽表現を工夫して演奏できる。	⑨
8	歌唱② (3)	《赤とんぼ》	見通しをもって粘り強く表現活動に取り組むことができる。	④
	自由表現② (15)	セルフプロデュースによる 演奏 (高齢者施設訪問)	様々な演奏形態による全体的な響きの変化を感じ取りながら、音楽表現を創意工夫できる。	⑥
9			場面にもふさわしい曲を演奏し、社会における音楽の役割について理解を深めることができる。	⑤⑧
10			他者との調和を意識し、個性豊かに音楽表現を工夫して演奏できる。	⑨
11	鑑賞② (3)	歌舞伎《京鹿子娘道成寺》	見通しをもって粘り強く表現活動に取り組むことができる。	⑤
	歌唱③ (5)	《蛍の光》など	音楽の多様性を理解し、我が国の音楽文化に親しみを持つことができる。	④⑧
			音楽の構造や曲の背景を理解し、他者と協働しながら曲にもふさわしい音楽表現を工夫することができる。	
12	創作 (4)	《EDMをつくろう》	DAWの使い方、音楽の作り方の基礎的な技能を身に付けることができる。	①② ⑤
			様々な音色やテクスチャを使い分け、個性豊かに創作表現を工夫できる。	②③
1	1年間のまとめ (2)	プレゼンテーション	1年間の内容を振り返り、成果をまとめ、発表することができる。 自己と音楽との関わりについて考えることができる。 根拠を持って音楽を評価し、他者に発信することができる。	⑥ ⑤

教科名	芸術（書道）	単位数	2		担当	
科目名	書道 I	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	新編 書道 I（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> <p style="text-align: right;">（高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）より）</p>					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標						
<p>(1) 作品制作のポイントの整理や鑑賞活動などにワークシートを使用しますので、活用してください。</p> <p>(2) ほぼ毎時間、作品を提出してもらいます。自分で写真を撮影し、classroomを通して提出します。</p> <p>(3) 試験は実施しません。毎回の提出作品やワークシートへの記述、取り組みの様子などをもとに評価をします。書道 I では、作品制作のための技術を身に付ける学習だけではなく、様々な学習活動を行い、評価をします。</p> <p>(4) この科目では、実技だけではなく、根拠をもって作品を鑑賞する活動や、制作する上で自分自身が考えたことを記述するといった活動があります。考えたことや感じたことを積極的に、文章や発言で表現するように心がけてください。</p> <p>(5) クラスメイトと作品の相互批評や、話し合いの場面も多くあります。積極的に参加してください。</p> <p>(6) 実技教科なので用具・用材は大切です。直接作品に影響が出ますので、大切に扱ってください。</p>						
2 授業の進め方						
<p><遠隔授業について></p> <p>(1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。</p> <p>(2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。</p> <p>(3) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。</p> <p><学習の支援について></p> <p>(1) 授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。</p>						
3 評価の規準						
①知識・技能						
<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 						
②思考・判断・表現						
<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 						
③主体的に学習に取り組む態度						
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 						

4 評価の方法					
	評価方法\観点	①	②	③	主な対象
ア	学習活動の観察	○	○	◎	振り返り、学習活動の取組
イ	ワークシート	○	◎	◎	ワークシート等への記述
ウ	作品	◎	○	○	提出作品

<成績（評定）の付け方>

3観点は均等に扱い評価します。

5 授業計画					
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力	
4	オリエンテーション (2)	・書道 I の学習について。 ・書表現の多様性について知る。 □対面授業① (予定)	高等学校における書道の学習について見直しをもつことができる。 端末の使用方法についても理解することができる。	①⑦	
	○漢字の書の学習① (4) 書風と結構法 ●九成宮醜泉銘 ●孔子廟堂碑	【A表現】【B鑑賞】 ・楷書の基本用筆を学ぶ。 ・様々な楷書の表現の習得。	基本的な楷書の筆使いを比較しながら学ぶ。 初唐の三大家の書を学び、同じ楷書の表現にも様々な違いがあることを理解し、表現することができる。	⑤	
5	○漢字の書の学習② (4) 多様な筆使い ●雁塔聖教序 ●顔氏家廟碑	【A表現】【B鑑賞】 ・入筆に留意して書く。 ・筆圧のかけ方による表現の違い。	入筆には様々な表現があることを知り、留意しながら書くことができる。筆圧の違いによる表現の差異に気付き表現できる。	④	
	○漢字の書の学習③ (6) 円筆と方筆 ●牛橛造像記 ●鄭義下碑	【A表現】【B鑑賞】 ・重厚な書風。 ・方勢で力強い書風。 ・円勢でゆったりした書風。	初唐の三大家のような楷書の姿だけではなく、様々な楷書の表現があることを理解し、様々な表現をするための筆使いを表現することができる。	⑧⑤	
6	○漢字の書の学習④ (4) 行書の基本用筆 ●蘭亭序 (神龍半印本)	【A表現】【B鑑賞】 ・行書の基本用筆を学ぶ。 ・蘭亭序の良さを味わう。	蘭亭序の歴史的背景を理解することができる。行書の持つリズムや流れを意識して表現することができる。	⑤	
	○漢字の書の学習⑤ (6) 様々な行書の筆使いと書風 ●祭姪稿 ●風信帖	【A表現】【B鑑賞】 ・蘭亭序とは異なる行書の表現を学ぶ。 ・古典の書かれた背景を理解し、古典を味わう。	古典の書かれた背景の理解を通して、線質や字形から作者の感情を想像することができる。 蘭亭序とは異なる行書の筆づかいを表現することができる。	③⑤	
8	○漢字の書の学習⑥ (2) 篆書の用筆と運筆 ●泰山刻石	【A表現】【B鑑賞】 ・篆書の基本的な筆使いの習得。	篆書の筆使いである、藏鋒、中鋒を習得し、篆書の特徴的な文字造形を表現できる。	④	
	○漢字の書の学習⑦ (8) 篆刻の学習 ●様々な篆刻作品	【A表現】【B鑑賞】 ・篆刻についての理解を深める。 ・様々な篆刻作品に親しむ。 ・自分の落款印を制作する。 □対面授業② (予定)	篆刻の歴史や用途についての理解を深めることができる。また、様々な篆刻作品の作風があることを理解できる。自分なりの落款印を制作することができる。	②④⑤	
10	○漢字の書の学習⑧ (6) 隸書の筆使いと字形 ●曹全碑 ●その他隸書の古典	【A表現】【B鑑賞】 ・隸書の筆使いの習得。	隸書の基本的な筆使いを表現することができる。臨書例との違いを指摘することで、細かな字形の違いを意識して臨書できる。	④	
	○漢字の書の学習⑨ (2) 草書の用筆と運筆	【A表現】【B鑑賞】 ・基本的な草書の筆使いの習得。	草書の特徴を理解するとともに、基本的な草書の筆使いができるようになる。	④	

11	○仮名の書①（４） 仮名の基本的な筆使い ●いろは歌	【A表現】【B鑑賞】 ・仮名に親しむ。 ・仮名の基本的な筆使いの習得。 ・和歌を書く。	仮名の基本的な筆使いをできるようにする。文字の大小、行の流れ、墨の付け方に気をつけながら「蓬莱切」を書くことができる。	④
	○仮名の書②（４） 単体と連綿 ●蓬莱切 ●高野切第三種 ●元永本古今和歌集	【A表現】【B鑑賞】 ・仮名の書風の違いを理解する。	同じ和歌の作品を比較し、違いを指摘することで、書風の特徴を言葉にすることができる。字幅の変化や墨の付け方に注意して書くことで、行の流れを表現できる。	②④
12	○仮名の書③（２） 散らし書き ●三色紙	【A表現】【B鑑賞】 ・色紙の表現を味わう。	色紙の表現を味わい、意図について考えることができる。古典の散らし方を学び表現することができる。	④
	○仮名の書④（２） 仮名の創作 自選の和歌	【A表現】【B鑑賞】 ・散らし書きの創作。	仮名の基本的な用筆をいかして、自選の歌を表現することができる。 意図に応じた構成や表現に向けて工夫することができる。	⑤⑨
1	○漢字仮名交じりの書の学習①（４） 作品表現の意図を考える ●「ふゆの雨」 ●様々な現代の詩歌	【A表現】【B鑑賞】 ・漢字仮名交じりの書に触れる。 ・楷書の筆使いを応用した表現。	漢字仮名交じりの書の歴史等に触れ、どのような書なのかを理解するとともに、これまで学習した楷書の古典的用筆をいかした表現をすることができる。	④
	○漢字仮名交じりの書の学習②（４） 全体構成の工夫 ●様々な漢字仮名交じりの書の作品 ●様々な現代の詩歌	【A表現】【B鑑賞】 ・様々な構成を知り、意図にふさわしいか考え、書く。 ・字形を工夫して書く。	構成により作品の表情が変わることを知り、自分の表現意図に合わせて書くことができる。また、字形を工夫し表現を広げることができる。	④⑤
3	○漢字仮名交じりの書の表現（４） ●自選のことばでカレンダー制作	【A表現】【B鑑賞】 ・構成の工夫。 ・作品の構想・工夫。	作品制作の過程を理解し、古典の応用、構成の工夫といった視点を加味しながら自分なりの表現をすることができる。	⑤⑨
	○一年間のまとめ（２） ●ポートフォリオに蓄積した自分の作品	【A表現】【B鑑賞】 ・一年間の学習の振り返り。	自分のこれまでの書道の学習を振り返り、自分自身ができるようになったことを確認する。	⑨

時数合計（70）